



校長室だより 笑顔

今年度のテーマ **聴き合う**

◆ さくら児童会スローガン: たくましく 笑顔いっぱい あかいつ子 ◆

第1学期終業式を迎えました 聴き合って、みんなで頑張った1学期!

本日は、第1学期の終業式を行いました。児童の作文発表では、1年 齋藤澄玲さん(代読 本田董さん)、3年 坂下結音さん、5年 遠藤妃奈子さんが、1学期に頑張ってきたことや思い出を堂々と話しました。

今年度は年間を通して「聴き合う」ことを頑張ってもらいたいと話しています。聴き合うことは相手を大切にすることにつながります。お互いに大切にしよう関係ができることで、安心してチャレンジしたり間違ったりすることができる温かな学級・学校を作ろうと働き掛けてきました。

そこで、終業式では子どもたちが学習や児童会活動などで「聴き合って」頑張っていた姿を紹介しました。そして各学年の代表が「1学期の宝物」を発表しました。この「宝物」とは、1学期に学年としてみんなで頑張ってきたことや成長と感じていることを意味しています。1学期を振り返り「宝物」について話し合うことを通して、お互いの頑張りを認め合い、2学期に更に成長していこうという意欲を高めたいとの期待を込めました。

『1学期の宝物』

【1年生】 **ともだちとなかよくできた! べんきょうがたのしかった!**

- ・1年生になってたくさんの友達ができ、みんなで仲良く遊んだから。
- ・字を書いたり読んだり…。初めて知ることがいっぱいあって楽しかったから。

【2年生】 **みんなが算数を好きになったこと**

- ・みんなで一緒に考えることができ、楽しいし、計算が得意になってきたから。

【3年生】 **校外学習の思い出(ノビコ、いちご狩り、フレスコキクチの見学)**

- ・3年生でしかできない、貴重な体験がたくさんできたから。

【4年生】 **わくわく 楽しい思い出**

- ・初めてのクラブ活動やで、分からないこともあったけれど、聞きながら協力してできたから。
- ・校外学習(ポプラ生きもの調査隊)で知らなかったことも新しく勉強できたから。

【5年生】 **松島宿泊学習**

- ・初めてのことが多かったけれど、チャレンジする気持ちでみんなと協力して乗り越えられたから。

【6年生】 **赤井いぶき太鼓 31代目: 和太鼓への取組**

- ・一生懸命頑張れたし、助け合うことができた。心一つにして頑張れたから。



各学年の「宝物」からは、**「仲間との経験が大切。お互いの思いを聴き合って協力しあったからこそ宝物として輝く」と**学年なりに気付いてくれたことが分かり、うれしい気持ちになりました。

102日間の1学期の活動を無事に締めくくることができたのは、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力のおかげです。心から感謝いたします。そして、2学期も温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



「でめこん」で育む生きる力・確かな学力

9月8日（金）に実施した学習参観には、たくさんの保護者の皆様においでいただきありがとうございました。全体会で私から『「でめこん」で育む生きる力・確かな学力』というお話をさせていただきました。

変化の激しいこれからの時代を生きる子どもたちにとって、生きる力や確かな学力を身に付けるためには、自らの生活や学びを計画しやり抜く「自己調整力」の育成が不可欠です。そこで、赤井小学校の全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、デジタルメディア・コントロールの必要性を教育講演会の内容とからめてお話ししました。「スライドの内容をメモしたかった。」「子どもにも話して約束を決めたい。」という声がありましたので、一部を紹介いたします。

教育講演会で学んだこと

- 脳は使わないと発達しない。
- ゲームをしているとき前頭前野は働いていない。
- 前頭前野が最も働くのは音読しているとき。
- 眠らないと記憶は定着しない。

教育講演会で学んだこと

- スマホの使い過ぎは脳に悪影響を与える。
- スマホの使用時間が1時間を超えると、勉強しても効果が上がらない。
- 勉強するときはスマホの電源を切ったり、身近に置かないようにするとよい。

スマホは大変便利なものですが、若いうちから使い過ぎると脳に悪影響が出ることが調査研究の結果から明らかになっています。実際、全国学力・学習状況調査の結果から、勉強時間が長くてもスマホの使用時間が1時間を超えると、学習効果が上がらないというデータが出ています。自分でスマホの使用を我慢できる人、自己調整・自己管理できる人が良い結果を残しやすいということではないかと、講演いただいた榎先生はおっしゃっていました。また、スマホは実際に使わなくても、そばに置いておくだけで集中できないそうです。「ながら勉強」の3時間とスマホなしの勉強30分とが同じ学習効果だという驚きの調査結果も聞きました。ですから、学習するときは近くに置かないようにして、集中できる環境を作るのがいいようです。

現在、児童会が中心となって「でめこん」の取組を見直すよう呼び掛けています。自己管理できる人が増えると、健康面・学習面にも良い影響が出て生きる力・確かな学力につながると思われます。

「でめこん」を効果的に進めていくためにはご家庭の協力が必要です。ぜひ、お子さんのより良い成長と、夢の実現のため、家族で「でめこん」に取り組んでみてはいかがでしょうか。



この写真は、開校100周年記念事業の際に作られた石碑です。校舎の前、校木「見守りの松」の根元に建てられています。そこに刻まれているのは下のことばです。

「考える力を伸ばそう」
「強く・美しい心をもとう」
「からだをじょうぶにしよう」

50年前に目指したものと、現在目指しているものと、大事な点は共通しているのだと改めて感じました。デジタルメディア・コントロールは一つの手段に過ぎないかもしれませんが、それは、子どもたちの夢への近道になるのではないのでしょうか。

開校150周年記念事業に向けた取組も進んでいます。詳しくは後日お知らせします。